



大雨の季節です 命を守る行動を

まもなく梅雨の季節がやってきます。毎年のように全国各地で豪雨災害が発生し、長岡市でも平成29年7月18日、川口地域を中心とした大雨により、床上浸水や土砂崩れなどの被害を受けました(上写真)。自らの命、家族の命を守るため、避難情報の種類や情報源、事前の備えを改めて確認しましょう。

1 逃げ遅れゼロへ 日頃の備えと 早めの避難

昨年7月の西日本豪雨の教訓を踏まえ、国は避難情報などを5段階に区分し、危険度と市民が取るべき行動がすぐわかるようになりました。市からの避難情報は「緊急情報、警戒レベル4、避難開始」などと発令します。
 圏危機管理防災本部 ☎39・2262

家族会議やパンフレットで “備え”を確認しよう！

万が一に備え、避難所や連絡方法、持ち出し品などを家族で確認しましょう。市が作成した「市民防災のしおり」、洪水・土砂災害・津波の危険箇所や避難先を記した「ハザードマップ」もご活用ください。
 ※冊子が必要な人はお問い合わせください。ながおか防災ホームページ(次ページ)にも掲載しています



日頃から

危険度大

災害発生

警戒レベル	避難情報など 赤字は市が発令します	市民のみなさんが取るべき行動
1	気象台が発表 ・警報級の大雨が降るとの予報	最新の防災気象情報などに注意してください
2	・注意報(大雨・洪水)	避難場所や経路の確認 さまざまな状況を想定し、複数の避難場所や経路を確認してください
3	・避難準備・高齢者等避難開始	避難所を開設します 開設している避難所を確認し、高齢者や障害者、乳幼児などは避難
4	・避難勧告 ・避難指示(緊急) ※緊急時または再度避難を促す場合などに発令します	全員が直ちに避難 安全に移動できる避難所へ避難してください。 ★膝近くまで浸水した場合、自宅の2階への避難の方が安全なこともあります
5	・災害発生情報	命を守るための行動

※報道機関のテレビやラジオでは「警戒レベル」を用いない場合があります

2 危険を素早くお知らせ 身近な情報源 の活用を

豪雨災害や土砂災害などから身を守るためには、正確な防災情報・避難情報が欠かせません。平時に用意しておくことで、いざという時に大切な情報を素早く受け取るツールを、ぜひ活用してください。
 圏危機管理防災本部

緊急速報メール (エリアメール)

市内の配信エリアにあるNTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に一斉配信します。登録は不要。対応機種や設定は携帯電話各社の店舗にお問い合わせください。

●国の洪水情報メール

信濃川および魚野川が氾濫危険水位に達した場合や氾濫した場合に配信されます。
 圏信濃川河川事務所防災情報課 ☎32・3273

防災気象情報メール

市内に発表された気象警報、震度、津波、河川の水位などの情報をお知らせします。
 ▶登録はこちら

ながおか土砂災害Dメール

土砂災害が発生する恐れのある地域のゲリラ豪雨、土砂災害、避難情報などの緊急情報を携帯電話に配信します。
 市外在住でも登録が可能。登録方法などはお問い合わせください。

ホームページ、SNSなど

●ながおか防災ホームページ
 市内各地域の雨量や河川の水位、気象、災害時の道路・公共交通機関、休校・休園などの情報を集約して掲載します。

ながおか防災 検索

●フェイスブック、ツイッター(ポータル)最新
 最新の防災情報を配信します。



緊急告知FMラジオ

緊急時、自動で電源が入り、避難情報などが最大音量で流れます。「電話が通じない」「電気も止まった」事態でも情報が届くように、全ての町内会(主に町内会長)、民生委員、障害のある人などに配備しています。また65歳以上の高齢者などには購入費用の一部を補助します。

日頃から隣近所とコミュニケーションをとり、災害時には助け合って、避難しましょう。

✓全市民が防災要員



▶中越市民防災安全士による防災講座

地域で防災活動の講師を派遣します

防災活動の困りごと相談や防災の知識を学びたいときは、お気軽にご連絡ください。自主防災会や町内会向けに、中越市民防災安全士や自主防災活動アドバイザーなど防災の知識を持つ講師を派遣しています。市職員による出前講座も活用ください。

圏危機管理防災本部